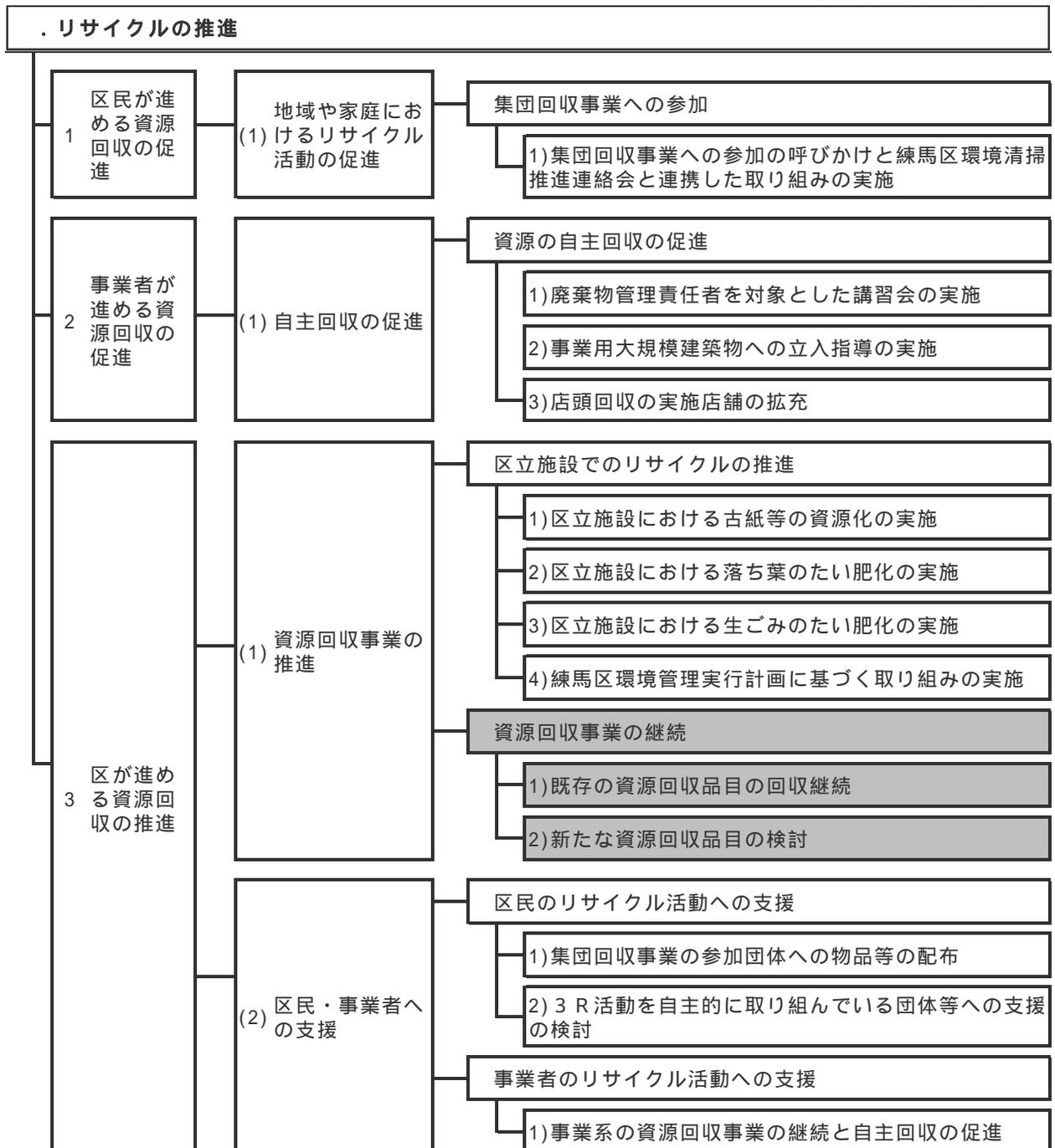


## 重点的取り組み項目等について

## 1 柱 リサイクルの推進

## (1) 柱 の施策体系

網掛けは重点的取組項目



## (2) 資源回収事業の継続（重点的取り組み項目3）について

### ア 第3次一般廃棄物処理基本計画の平成32年度目標との関連

平成32年度の区民1人1日あたりの資源量の目標198g/人日まで、あと29g/人日増やす必要があります。

平成26年度の区民1人1日あたりの資源量は、169g/人日で、平成32年度目標の達成にはあと29g/人日程度増やす必要があります。

なお、資源量は集団回収、集積所回収、街区路線回収、拠点回収、販売店回収、粗大回収の合計です。

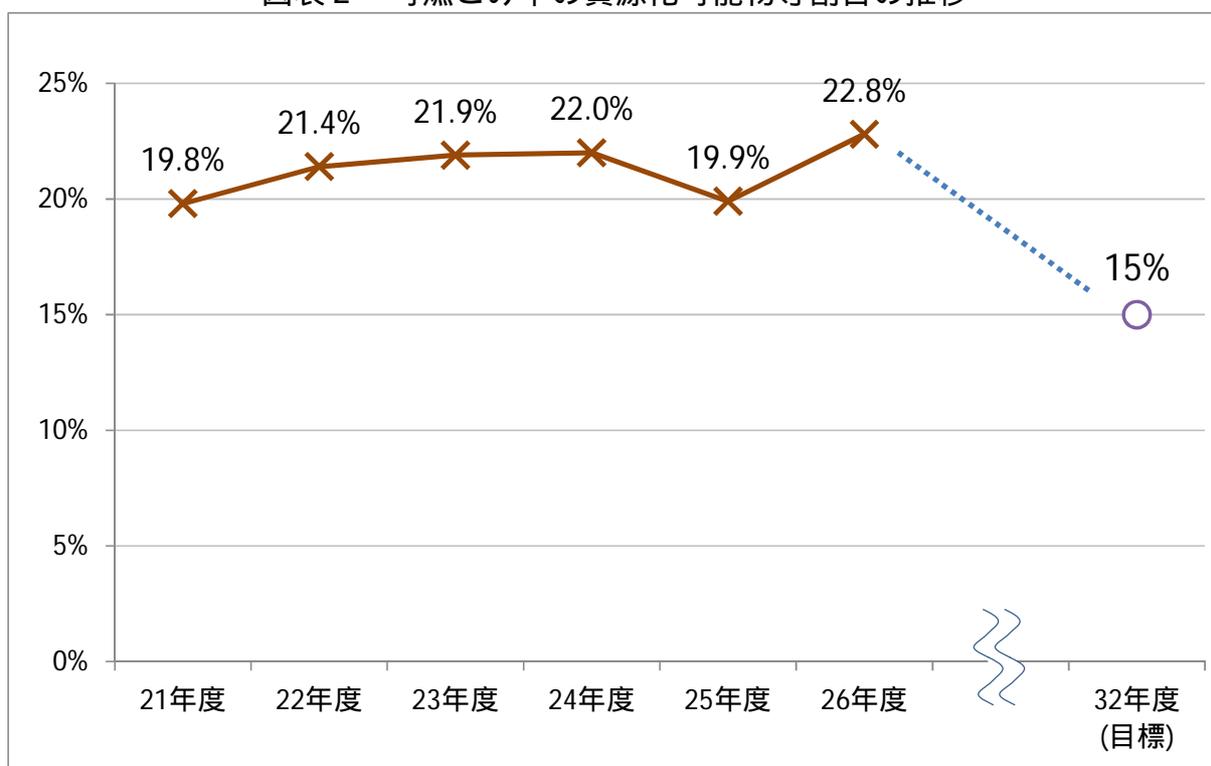
図表1 区民1人1日あたり資源量の推移



資源量の増加を図るには、ごみの中の資源化可能物等の分別徹底が必要です。

第3次一般廃棄物処理基本計画では、平成32年度の目標として、可燃ごみ中の資源化可能物や不燃物の割合を15%以下にすることをめざしています。各年度の可燃ごみ中の資源化可能物等の割合の推移を見ると、概ね横ばいの傾向です。

図表2 可燃ごみ中の資源化可能物等割合の推移



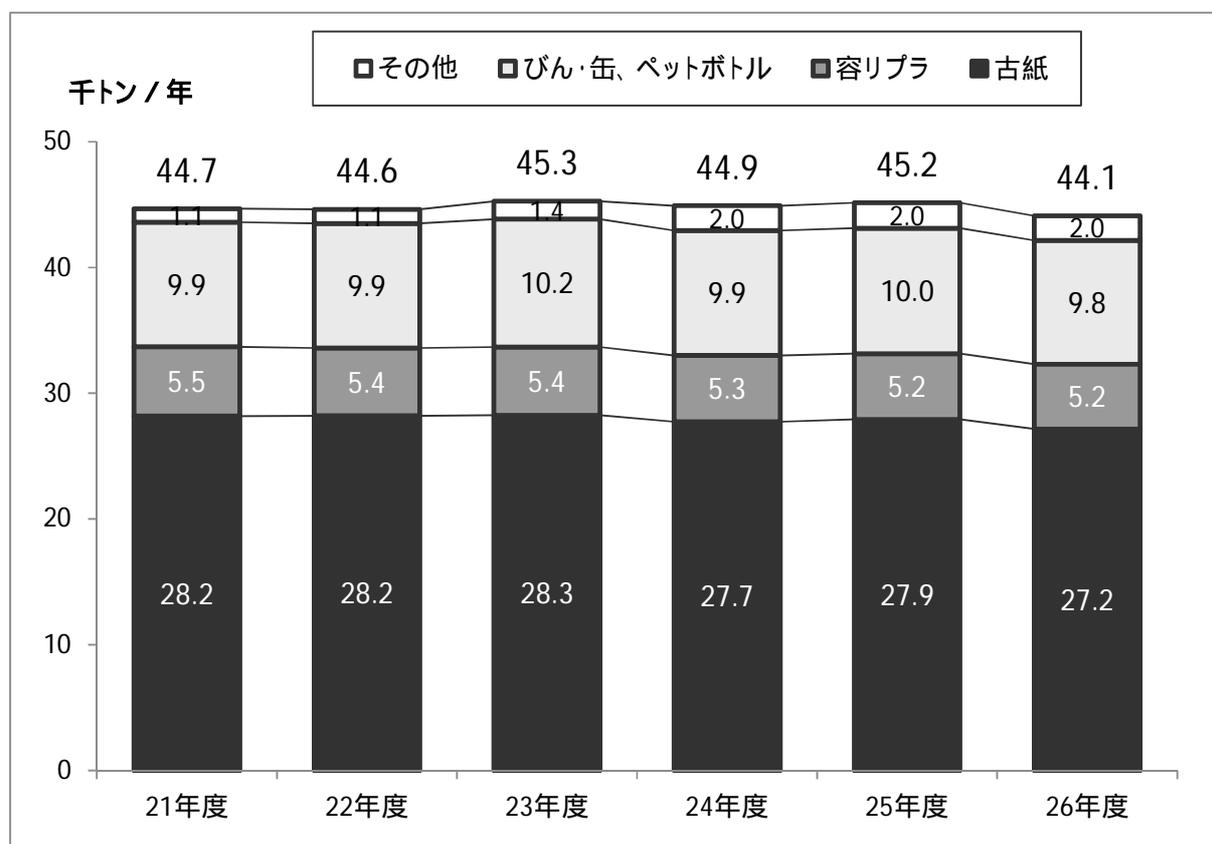
資料：各年度資源・ごみ排出実態調査

イ 参考1（資源回収量の推移）

資源回収量の総量としては、新規の取組を行っていますが、概ね横ばいです。  
（図表3）

図表3 品目別資源回収量の推移（年間量）

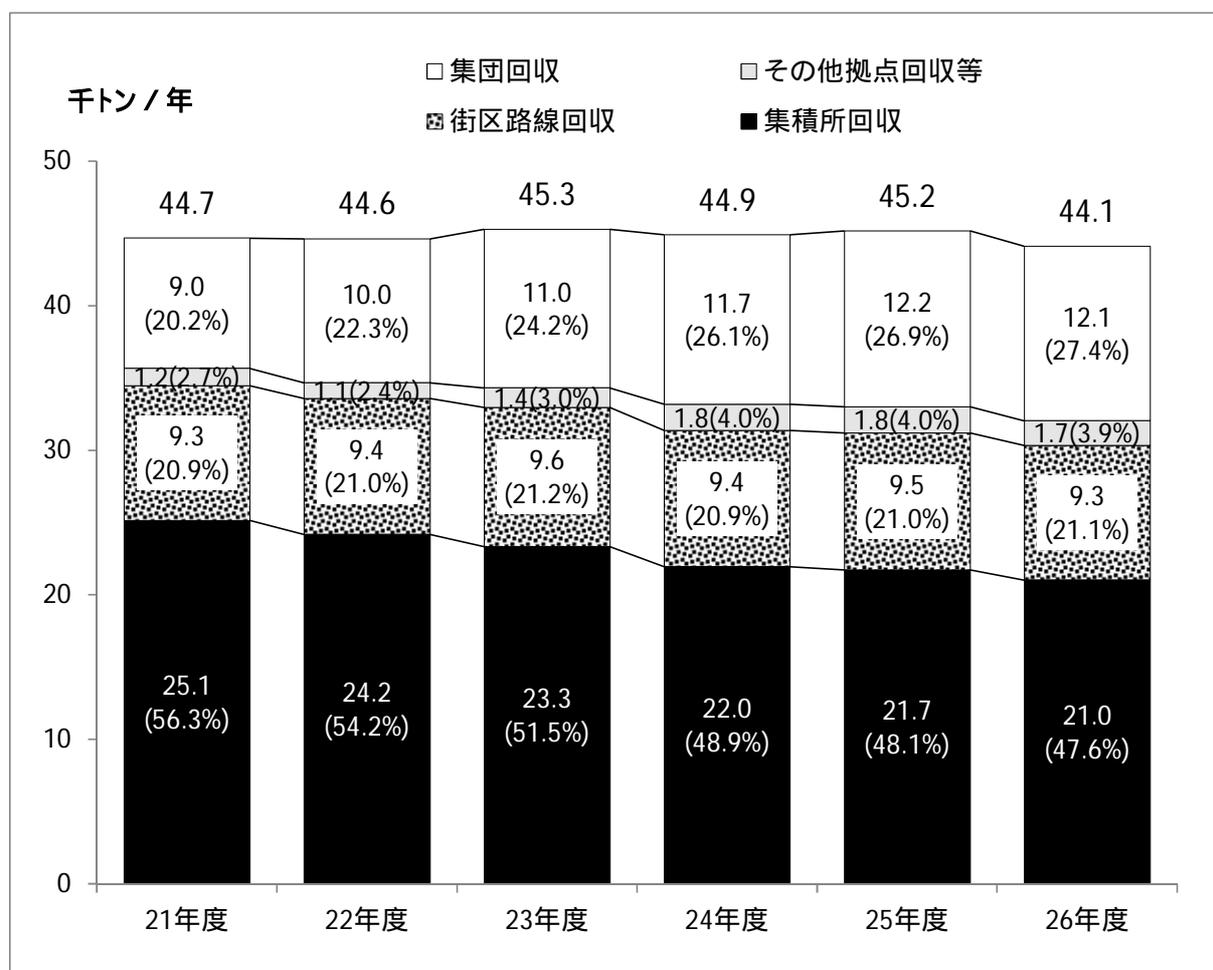
品目 / 年度	t/年					
	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
古紙	28,181	28,202	28,257	27,729	27,924	27,162
古着・古布	952	969	1,047	1,028	1,004	1,012
缶	2,349	2,349	2,302	2,243	2,215	2,145
びん	5,382	5,391	5,426	5,360	5,448	5,407
ペットボトル	2,186	2,179	2,430	2,322	2,336	2,285
乾電池	101	101	94	91	85	75
容リプラ	5,505	5,397	5,423	5,275	5,219	5,156
廃食用油	20	19	18	19	18	18
金属類	3	12	271	738	798	759
小型家電	-	-	1	2	3	3
布団	-	-	10	97	109	91
蛍光管	-	-	-	1	1	1
合計	44,678	44,621	45,279	44,905	45,158	44,113



回収方法別に見ると、集積所回収量は平成 21 年度以降、漸減傾向です。  
 集団回収量は増加傾向で、行政回収から集団回収に移行しています。

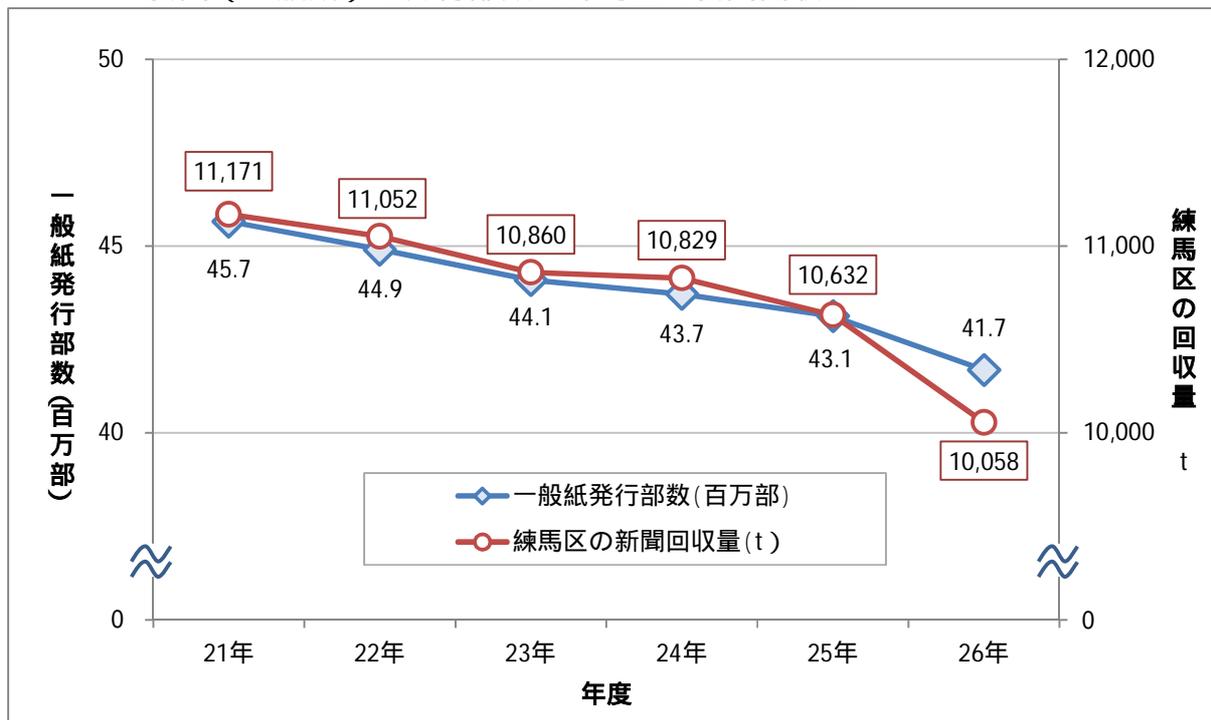
図表 4 回収方法別資源回収量の推移

回収方法 / 年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
集団回収	9,020	9,956	10,976	11,732	12,153	12,077
集積所回収	25,137	24,191	23,336	21,954	21,715	21,018
街区路線回収	9,328	9,385	9,614	9,406	9,465	9,312
その他拠点回収等	1,194	1,089	1,353	1,812	1,824	1,706
資源合計	44,678	44,621	45,279	44,905	45,158	44,113



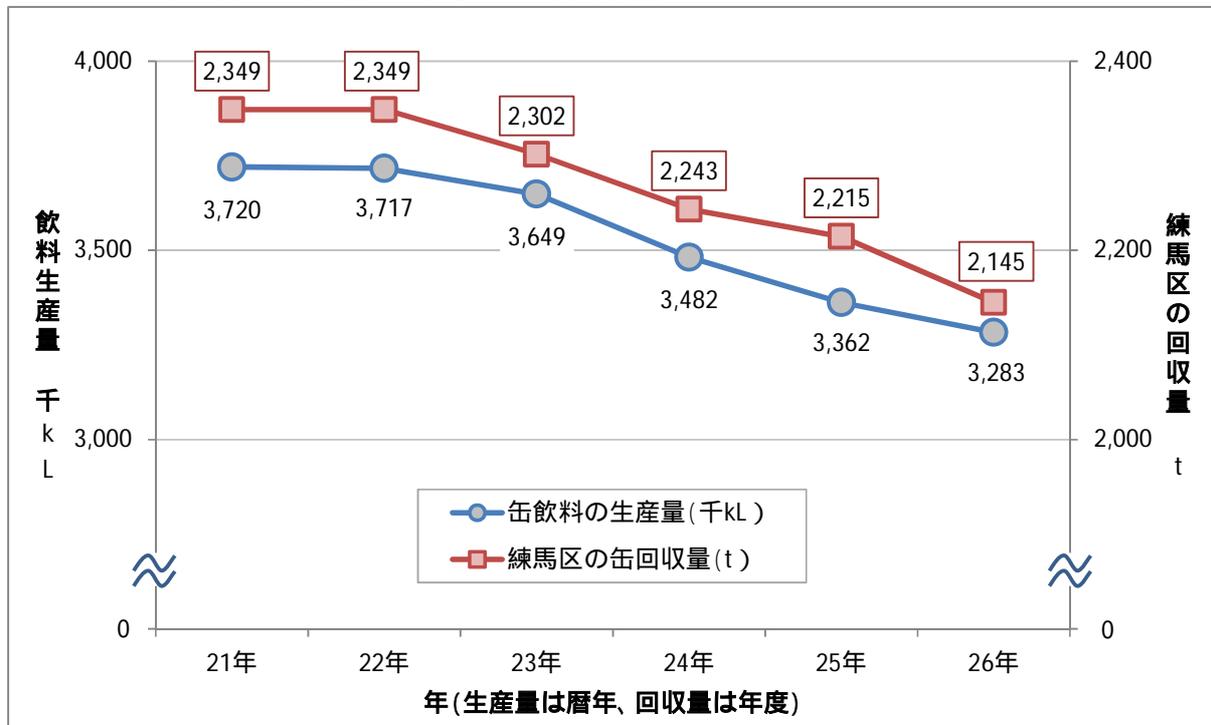
ウ 参考2（新聞発行部数やびん・缶、ペットボトルの生産量）

新聞（一般紙）の発行部数と練馬区の新聞回収量



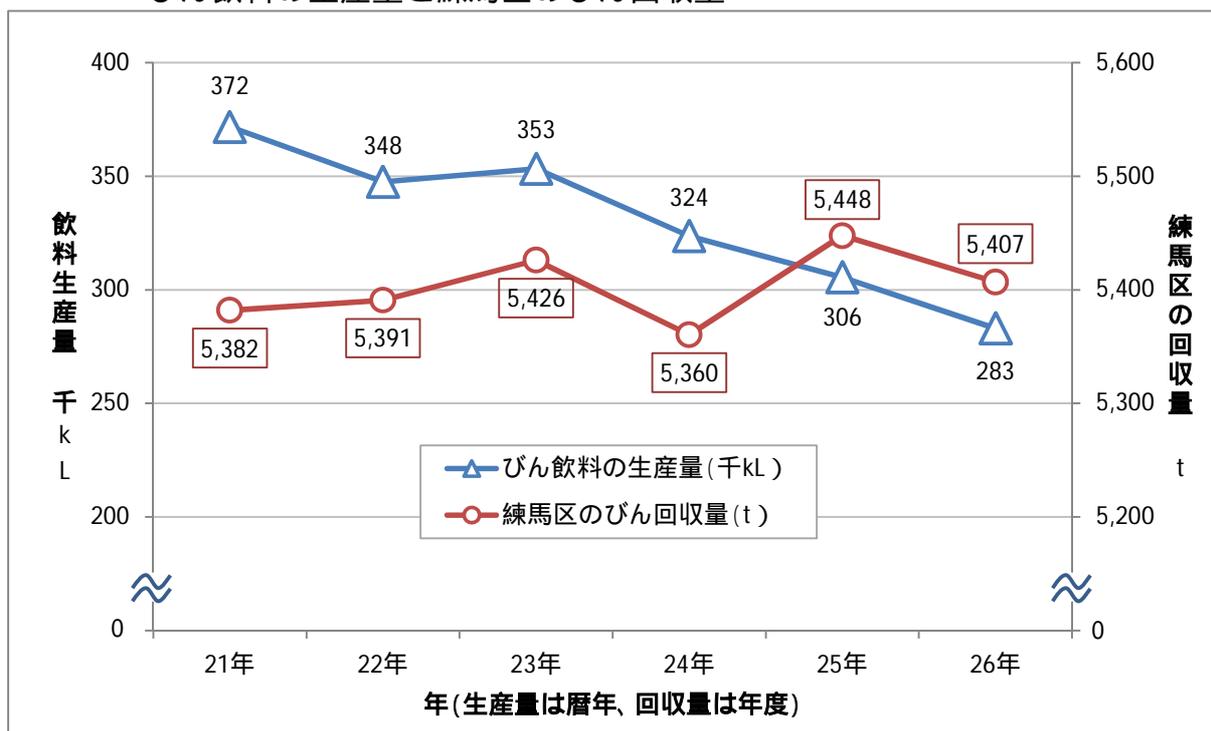
資料：(一社)日本新聞協会(各年10月)

缶飲料の生産量と練馬区の缶回収量



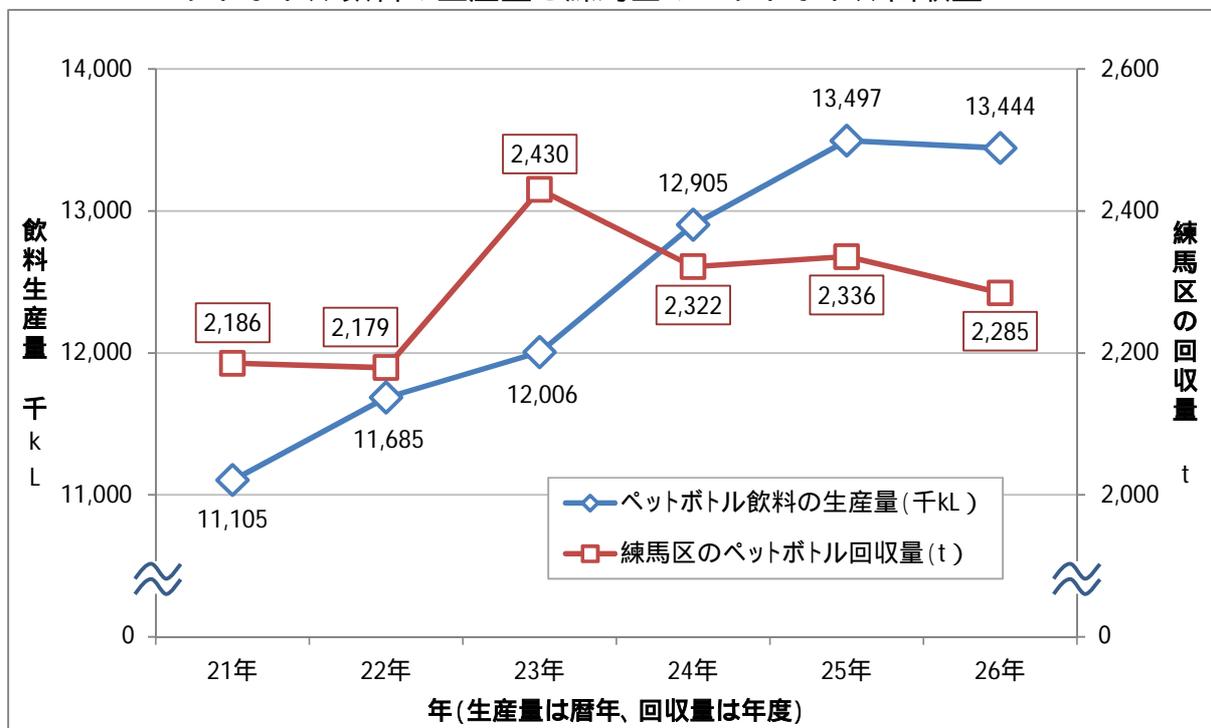
資料：(一社) 全国清涼飲料工業会 清涼飲料水関係統計資料 - 西暦2015年版

びん飲料の生産量と練馬区のびん回収量



資料：(一社) 全国清涼飲料工業会 清涼飲料水関係統計資料 - 西暦 2015 年版

ペットボトル飲料の生産量と練馬区のペットボトル回収量



資料：(一社) 全国清涼飲料工業会 清涼飲料水関係統計資料 - 西暦 2015 年版

(3) 継続する取り組み項目に関する参考資料

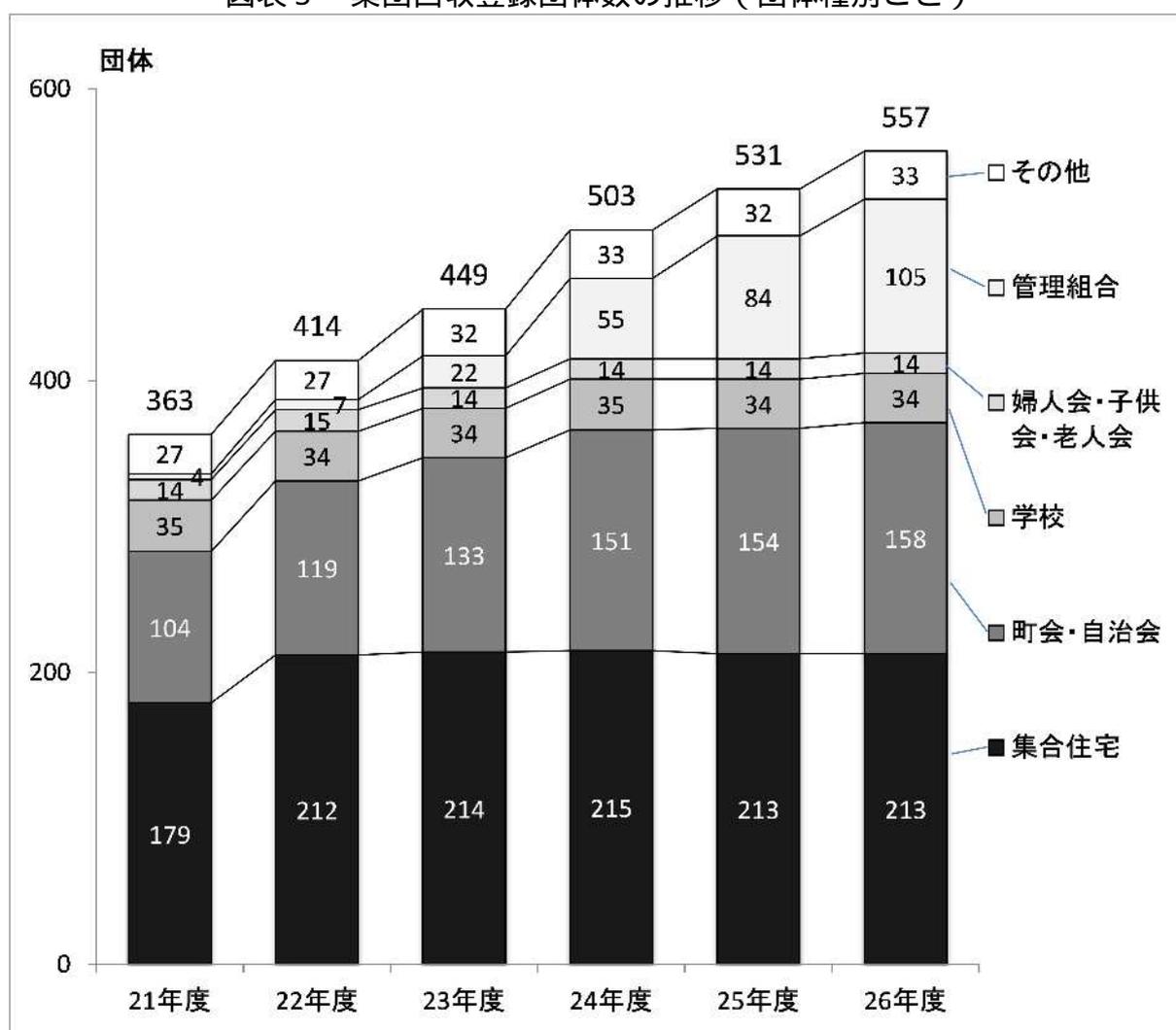
【 集団回収事業への参加】関連

集団回収の登録団体数は、平成 21 年度から 26 年度にかけ、363 団体から 557 団体へと約 1.5 倍に増加しています。

平成 21 年度から 26 年度にかけては、町会・自治会の団体数が 54 団体増加しています。

平成 24 年度から 26 年度にかけては、管理組合の団体数のみ増加しています。

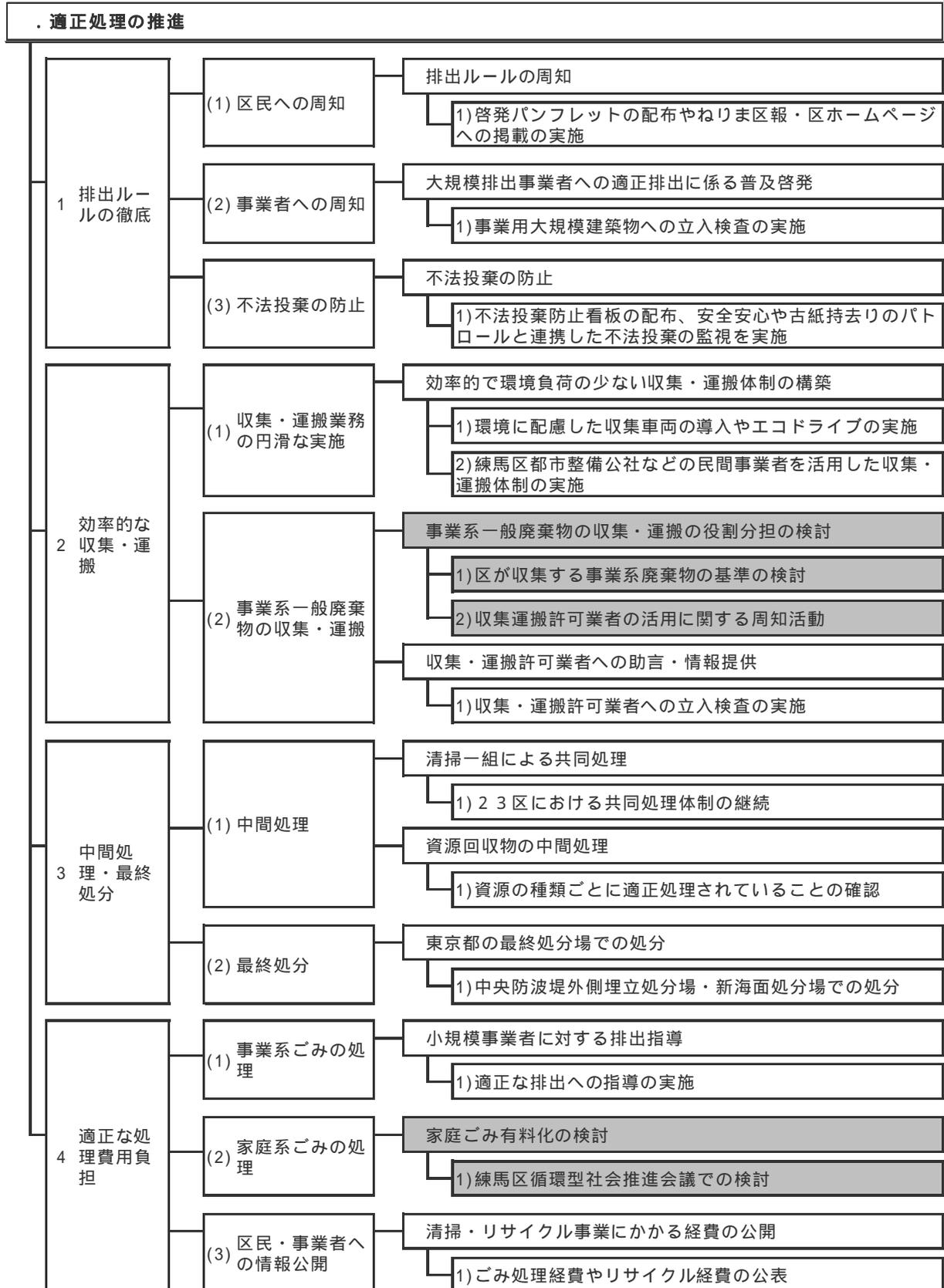
図表 5 集団回収登録団体数の推移（団体種別ごと）



## 2 柱 適正処理の推進

### (1) 柱 の施策体系

網掛けは重点的取組項目



(2) 事業系一般廃棄物の収集・運搬の役割分担の検討（重点的項目4）について

第3次一般廃棄物処理基本計画の平成32年度目標との関連

持込ごみ量（ ）は、平成24年度以降増加傾向にあり、25・26年度は32年度目標を超えています。

持込ごみ量は、平成26年度実績で27,260トンと、前年に引き続き第3次一般廃棄物処理基本計画の32年度目標、25,919トンを上回りました（図表6）。

一方、区収集ごみと持込ごみ量の合計は減少しています（図表7）。区収集ごみに排出されていた事業系ごみが、自己処理（許可処理業者への委託を含む）の推進により持込ごみ量に転換した可能性があります。実態調査等による検証が必要です。

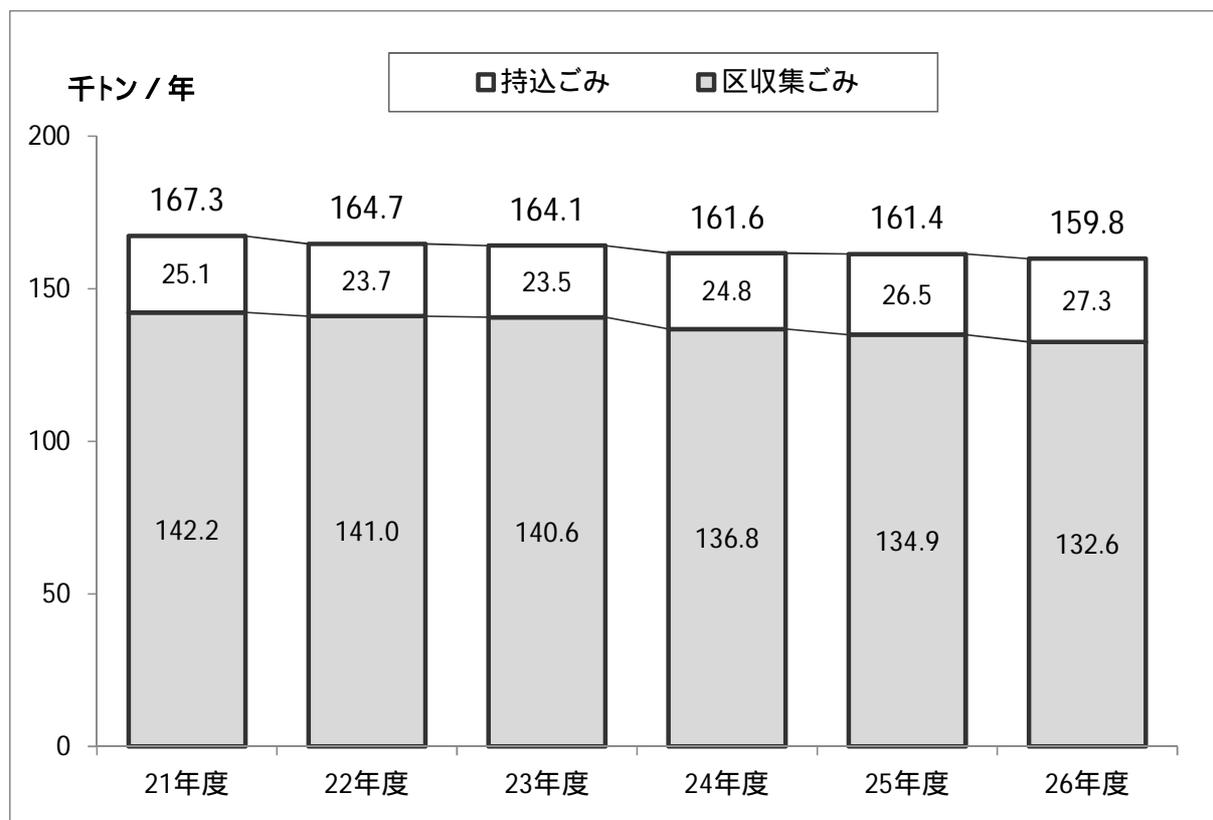
持込ごみ：事業所が一般廃棄物収集運搬許可業者に委託して清掃工場や粗大ごみ処理施設に持ち込むごみ、および事業所が清掃工場等に直接搬入するごみ

図表6 持込ごみ量の推移



図表7 区収集ごみ（可燃・不燃・粗大）と持込ごみ量の推移

年 度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
区収集ごみ (対前年増減)	142,182	140,992 ( 1,190)	140,605 ( 387)	136,811 ( 3,794)	134,917 ( 1,894)	132,586 ( 2,331)
持込ごみ (対前年増減)	25,083	23,678 ( 1,405)	23,517 ( 161)	24,813 (1,296)	26,455 (1,642)	27,260 (805)
合 計 (対前年増減)	167,265	164,670 ( 2,595)	164,122 ( 548)	161,624 ( 2,498)	161,372 ( 252)	159,846 ( 1,526)



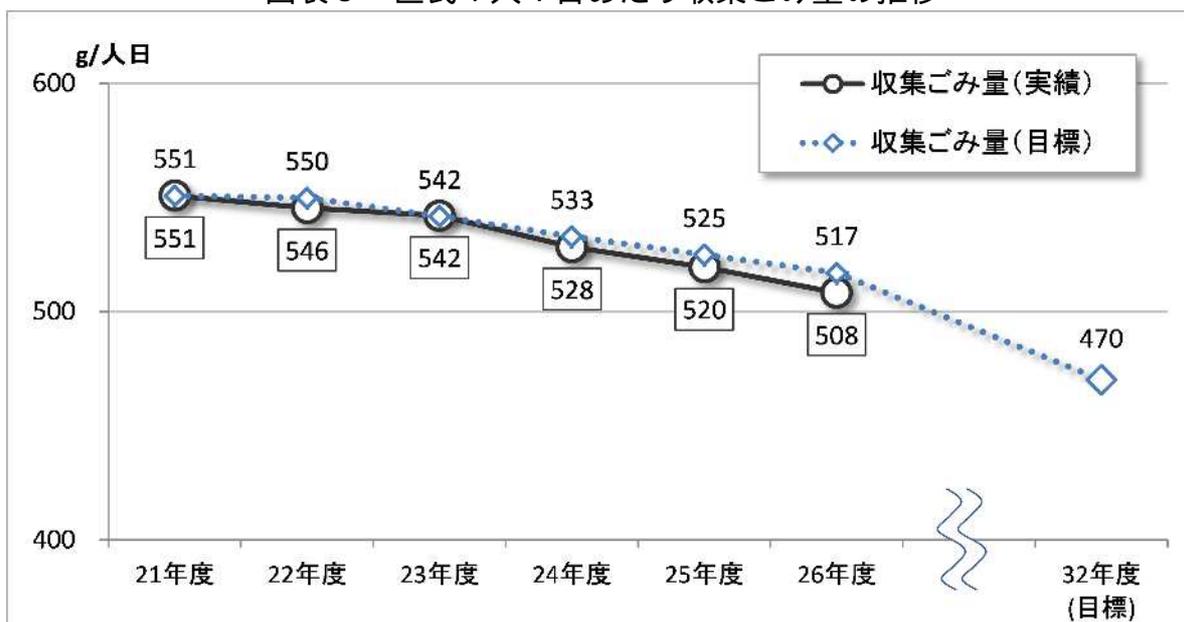
### (3) 家庭ごみ有料化の検討（重点的取り組み項目5）について

#### 第3次一般廃棄物処理基本計画の平成32年度目標との関連

区民1人1日あたりのごみ量は、平成32年度目標に向け順調に減少しています。

平成26年度の区民1人1日あたりのごみ量は、508g/人日（23区内2番目の少なさ）で、平成32年度目標に向け順調に減少しています。

図表8 区民1人1日あたり収集ごみ量の推移



図表9 23区の平成26年度の区民1人1日あたりのごみ量

